

まちの話 だい

6月9日 | 七色の水着で夏を先取り

梅雨の晴れ間となったこの日、六合幼稚園で「プール開き」が行われました。

89人の園児はまず、先生とプールの約束を交わした後、年長児が今年目標を発表。続けて安全を祈願し、プールに魔法の粉をまきました。子どもたちは、足を水に入れると「冷たーい!」などと歓声を上げながらも、すぐに笑顔一杯で遊び回り、夏を先取りしていました。



6月18日 | 古くて新しい銘菓づくり

金谷公民館の高齢者学級や市民学級生約30人が、「家康公の勝鬨餅」作りに挑戦しました。

勝鬨餅は、江戸時代に金谷地区で人気だった餠餅を再現した「新・金谷名物」。この日は夢づくり会館で、講師に菓子処「叶家」の中村旬さんを招き、当時のレシピ通りに仕上げました。参加者は「簡単で美味しくできた」「孫に作ってあげたい」などと、うれしそうに感想を話していました。



トピックス

「8020 コンクール」で9人を表彰

6月6日、歯科保健への関心を高め、健康づくりの推進を目的に、保健福祉センターはなみずきで第19回「歯と口の市民フェスティバル」が開催されました。80歳で自分の歯を20本以上残す「8020 コンクール」表彰式のほか、歯科相談やフッ素洗口体験など多彩な催しを実施。歯のブラッシング指導では、参加者が歯科衛生士の指導を受けながら、正しい歯の磨き方を実践しました。また、今年の8020 コンクールでは、9人の上位入賞者が表彰されました。



左から(敬称略) 小野みさ、やまの 山野あさ江、やまだ 弘子、おのおつか やすし、に した せつこ、つかもと 陽一、よしむらさおふう、まつもとすえはる、大塚泰二、西田節子、塚本 陽一、吉原三郎、松本末治(欠席)



©2015 Gullane (Thomas) Limited.

6月7日 | 今年も元気に出発進行

大井川鐵道の新金谷駅で「きかんしゃトーマス号」の出発式が行われました。

式典では、関係者がトップハム・ハット卿^{きょう}と一緒に、トーマスの前でテープカットを行い、今シーズンの運行を祝福。約560人の乗客が7両の客車に乗り込み、多くのファンに見送られて出発しました。今年は、赤い車体の「ジェームス号」も7月から加わり、10月まで元気よく運行されます。

6月14日 | 未来の太公望を目指せ

伊久美川で「初心者の川釣り教室」が行われ、親子など約40人が参加しました。

この教室は、多くの人に川釣りや流域の自然に親んでもらおうと、大井川非出資漁協が4年前から開催しています。参加者は、アユの友釣りと雑魚のえさ釣りに分かれて、清流での釣りに挑戦。ベテラン先生の指導のもと、参加した未来の太公望たちは、魚の引きに一喜一憂していました。



6月14日 | 雨期に備えて連携強化

消防団員や自主防災会の関係者など約350人が参加して、水害への危機意識を一層高める水防訓練が、大井川河川敷で実施されました。

消防団員は大量の土のうを使い「月の輪工法」や「改良積み土のう工法」などの水防工法を実践。本格的な出水期を前に、参加者は水害時の備えと連携を確認しました。また今年、消防本部や国交省に加え、初めて自衛隊も参加しました。